



PORSCHE

6. May. 2016

Vol.45/16

4 連続で表彰台を飾った 911 RSR

IMSA ウェザーテック・スポーツカー・チャンピオンシップ、第4戦、ラグナセカ／米国

ポルシェ AG（本社：ドイツ、シュトゥットガルト 社長：Dr.オリバー・ブルーメ）のポルシェ 911 RSR は、昨シーズンの最終4戦中1勝、3つの表彰台という戦績で今シーズンをスタートさせた IMSA スポーツカー・チャンピオンシップの夏休みに突入します。カリフォルニア州ラグナセカで開催されたレースでは、ル・マン初参戦で優勝したアール・バンバー（ニュージーランド）とフレデリック・マコヴィッキ（フランス）が、日曜日の決勝で3位に入賞しました。象徴的な 911 スポーツカーの第7世代をベースとしたポルシェ・ノース・アメリカの2台目となる 911 RSR を駆った IMSA GT のディフェンディングチャンピオンであるパトリック・ピレ（フランス）とル・マン総合優勝を果たしたニック・タンディ（イギリス）は、9位でチェッカーフラッグを受けました。2週間前、このペアはロングビーチの市街地サーキットで開催された由緒あるレースにおいて優勝しています。マニュファクチャラー部門では、ポルシェはトップにわずか3ポイント差の2位となりました。

2台のポルシェ 911 RSR は予選では苦戦し、モンテレー近くの砂漠のサーキットで開催された2時間のレースを最後方からスタートしました。最初に驚異的なパフォーマンスを見せたのは、ポルシェ・ノース・アメリカのピットクルー達で、セーフティカーフェーズ後の1回目のピットストップでは2台の 911 レーシングカーを記録的なタイムで送り出しました。その結果、パトリック・ピレは4つポジションを上げ3位でコースに戻り、そのすぐ後にはフレデリック・マコヴィッキが続きました。その1時間以上後、2位につけていたピレはコルベットにコース外へ押し出され、順位を大きく下げました。一方のマコヴィッキは、高度なレース戦略と、2度目のピットストップの成功によってレース終盤にかけてコンスタントにペースを上げました。これにより、彼は最後の数周でコルベットとフェラーリをオーバーテイクすることができ、ポルシェが3位に入賞しました。

レース後のコメント

ポルシェのモータースポーツ部門責任者フランク・シュテッフェン・バリサー博士：「スリルのあるレースでした。ピットストップ、タイヤや燃料に関する戦略。今日私達はすべてにおいて正しい判断を下しました。高い気温も私達に味方しました。今回、私達はチャンピオンシップ獲得のための貴重なポイントを獲得しました。チームが一丸となって頑張りを見せ、ドライバー達は作戦を見事に実行しました。私達がここで最初に直面した条件を考えれば、今回の結果は完璧なものです」。

GT ワークスモータースポーツの総合プロジェクトリーダー、マルコ・ウジュハシ：「私達は、このレースでできる限りの結果を残しました。昨シーズンの4戦中4表彰台という結果から今シーズンを始められるのは大変誇らしいことです。フリー走行から予選、決勝まで、準備は容易ではありませんでした。しかし、私達はすばらしい作戦を立て、それは少なくとも1台の 911 RSR で完璧な結果につながりました」。

ニック・タンディ（911 RSR #911）：「予選ではそれほどよいラップタイムを出せませんでした。911 RSR はサーキット全周で優れたパフォーマンスを発揮しました。表彰台に立ったチームメートを祝したいと思います。すばらしいレースでした」。

パトリック・ピレ（911 RSR #911）：「ロングビーチでの勝利があったので、もちろん今日はもう少しよい結果を期待していました。しかし、私達にとって今日のレースは難しいものとなりましたが、メカニック達がすばらしいピットワークで私達を有利なポジションでレースに復帰させてくれました。ただ残念なことにコルベットにコースアウトさせられた後、私にできることは限られていました。事実上、オーバーテイクは無理でした」。

フレデリック・マコヴィエッキ（911 RSR #912）：「私達の 3 位という結果は、チームワークの成果です。私はポルシェ・ノース・アメリカの仲間を本当に誇りに思います。予選の後、表彰台に手が届くとは思っていませんでした。ですから、喜びもひとしおです」。

アール・バンバー（911 RSR #912）：「私達がフリー走行と予選で抱えていた問題を考えると、この表彰台を得た結果は優勝と同然のように思えます。ウィークエンドを通してチームはすばらしい仕事をし、ピットストップは完璧としか言いようがありませんでした。これは、私達にとってすばらしい結果です」。

また、ニュルブルクリンク 24 時間レースおよびル・マンの準備も進んでいます。

ポルシェ・ノース・アメリカのワークスドライバー達は、7 月 3 日にワトキンスグレン（米国）で開催される IMSA スポーツカー・チャンピオンシップ第 5 戦に参戦する前に、欧州で最も有名な 2 つの 24 時間レースであるニュルブルクリンクおよびル・マンで戦います。

伝説的なニュルブルクリンク北コースでは、5 月 28 日／29 日にロングディスタンス・クラシックの第 44 回となるレースが開催されます。ドイツの最大のモータースポーツイベントとして、このアイフェルの丘陵地帯で行われる非常に特別なモータースポーツの祭典には、毎年 20 万人を超えるファンが集まります。マントイレシングはこのレースに 2 台の新型 911 GT3 R で参戦します。ニュルブルクリンクにほど近いモイシュパトに本社を置くこのチームとともに、ポルシェはこのホームサーキットで現在までに 5 回の総合優勝を果たしています。600 名を超えるドライバーと約 160 台のレーシングカーが、「緑の地獄」の異名を持つニュルブルクリンク北コースに挑みます。

そのわずか 3 週間後の 6 月 18 日／19 日には、ポルシェのドライバー達は世界で最も有名な耐久レースに参戦します。フランスのサルテ地方で開催される世界耐久選手権のシーズンハイライトであるル・マン 24 時間レースに、ポルシェは大規模な GT チームを送り込みます。ポルシェモータースポーツが GTE-Pro クラスに投入する 2 台の 911 RSR に加え、カスタマーチームがヴァイザッハで生産された最高出力 470 PS を発揮する 5 台の車両で参戦します。その内訳は GTE-Pro クラスに 1 台、GTE-Am カテゴリーに 4 台となっています。ニュルブルクリンクおよびル・マンに参戦するポルシェのワークスドライバーは、昨シーズンのル・マン総合優勝を果たしたアール・バンバーおよびニック・タンディ、さらに 2015 年 FIA 世界耐久カップで WEC GT 最優秀ドライバーに輝いたリヒャルト・リーツです。オーストリア出身のリーツは、ル・マンでポルシェを駆り 3 回の GT 優勝を果たしました。

IMSA スポーツカー・チャンピオンシップは、ル・マンのため期間を空けた後ワトキンスグレンの6時間レースで再開されます。このレースはアメリカのスポーツカークラシックと位置付けられています。ポルシェは、北米耐久選手権のトップとしてニューヨーク州のテクニカルなサーキットに挑みます。ワトキンスグレン、デイトナ、セブリングおよびプッチ・ル・マンの各レースが、この選手権の対象となります。昨年、ポルシェが911 RSR でシーズン初勝利を飾ったのがワトキンスグレン戦でした。この成功から、その後の感動的な勝利の流れが生まれ、最終的には GTLM チャンピオンシップの3つすべてのタイトルを獲得するに至りました。

レース結果

GTLM クラス

1. ブリスコー/ウエストブルーク（オーストラリア/イギリス）組、フォード GT、79 周
2. ピエール・グイディ/セーハ（イタリア/ブラジル）組、フェラーリ 488 GTE、79 周
3. バンバー/マコヴィツキ（ニュージーランド/フランス）組、ポルシェ 911 RSR、78 周
4. ガルシア/マグナッセン（スペイン/デンマーク）組、シボレーコルベット、78 周
5. ハンド/ミューラー（米国/ドイツ）組、フォード GT、78 周
6. フィジケラ/ビランダー（イタリア/フィンランド）組、フェラーリ 488 GTE、78 周
7. ギャビン/ミルナー（イギリス/米国）組、シボレーコルベット、78 周
8. ピレ/タンディ（フランス/イギリス）組、ポルシェ 911 RSR、78 周
9. エドワーズ/ルハー（米国/ドイツ）組、BMW M6、78 周
10. オーバーレン/ヴェルナー（米国/ドイツ）組、BMW M6、78 周

GTLM クラスポイント順位（全 11 戦中第 4 戦時点）

ドライバー部門

1. ミルナー、ギャビン（コルベット）130 ポイント
2. バンバー、マコヴィツキ（ポルシェ）118 ポイント
3. ブリスコー、ウエストブルーク（フォード）115 ポイント
4. セーハ（フェラーリ）113 ポイント
5. フィジケラ、ビランダー（フェラーリ）112 ポイント
6. オーバーレン、ヴェルナー（BMW）109 ポイント
7. ガルシア、マグナッセン、（シボレー）108 ポイント
8. ピレ、タンディ（ポルシェ）106 ポイント
9. ハンド、ミューラー（フォード）、100 ポイント
10. エドワーズ、ルハー（BMW）、92 ポイント

マニュファクチュアラー部門

1. シボレー、130 ポイント
2. ポルシェ、127 ポイント
3. フェラーリ、120 ポイント
4. フォード、115 ポイント
5. BMW、108 ポイント

チーム部門

1. #4 コルベットレーシング、130 ポイント
2. #912 ポルシェ ノースアメリカ、118 ポイント

3. #67 フォードチップガナッシレーシング、115 ポイント
4. #68 スクーデリアコルサ、113 ポイント
5. #62 リシ・コンペティツィオーネ、112 ポイント
6. #25 BMW チーム RLL、109 ポイント
7. #3 コルベットレーシング、108 ポイント
8. #911 ポルシェ ノースアメリカ、106 ポイント
9. #66 フォードチップガナッシレーシング、100 ポイント
10. #100 BMW チーム RLL、92 ポイント

＜ IMSA スポーツカー選手権について ＞
IMSAスポーツカー選手権は2014年に初めて開催された、アメリカとカナダを転戦するスポーツカーレース・シリーズです。このシリーズは、アメリカン・ル・マン・シリーズとグランダム・シリーズの統合によって生まれました。GTLM(GT ル・マン)、GTD(GT デイトナ)、P(プロトタイプ)、PC(プロトタイプ・チャレンジ)の 4 つの異なるクラスでプロトタイプとスポーツカーによって争われます。ポルシェ 911 RSR は GTLM クラス、ニューポルシェ 911 GT3 R は GTD クラスにそれぞれ参戦しています。

＜本件に関する読者からのお問い合わせ先＞ ポルシェ カスタマーケアセンター 0120-846-911 ポルシェ ホームページ http://www.porsche.com/japan/
